



月西の夕陽の光を
 浴びては心もほぐれ
 隙に思ふ情をいかに
 言ふべし哉
 二本迄屋敷の石を
 ながらばるる水は
 静かに流るる

二下
 二下

月西の夕陽の光を
 浴びては心もほぐれ
 隙に思ふ情をいかに
 言ふべし哉
 二本迄屋敷の石を
 ながらばるる水は
 静かに流るる

伊東 孫

佐山

